

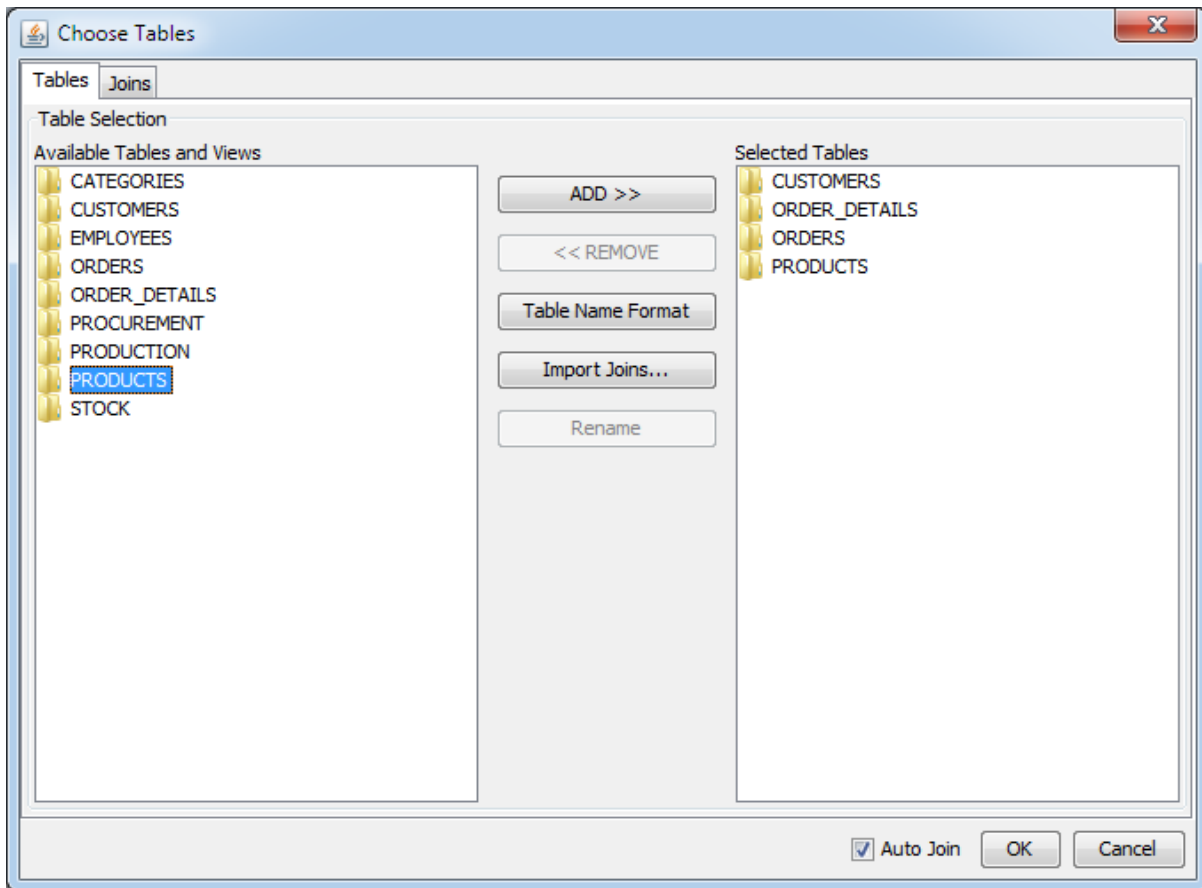
実習 10: データビューの作成

この演習では HSQL データベースを用いた注文/請求システムを作成します。

ステップ 1: ビューの追加とデータベーステーブルの選択

- 1.) データベースマネージャーで「Woodview」ノードを拡張し、「Data Views」サブノードを選択、「ADD」をクリックします。データベースのどのテーブルを使用するかを設定するためのウィンドウが開きます。次のテーブルを選択します。

CUSTOMERS
ORDER_DETAILS
ORDERS
PRODUCTS



- 2.) 次に「Joins」タブをクリックします。クエリビルダーのようにテーブルが表示されます。「Auto Join」オプションがマークされているため、選択したテーブルの結合線が表示されます。
- 3.) 「OK」をクリックし、テーブルの選択を完了します。

ステップ 2: グループフィールドの追加

- 1.) 次のダイアログでウィンドウの一番上にあるフィールドにデータビューの名前を”Invoicing”と入力します。
- 2.) "CUSTOMERS" フォルダをダブルクリックし、テーブルのフィールドを指定します。次のフィールドを選択し、「ADD」をクリックします。

COMPANY
CONTACTNAME
ADDRESS
CITY
STATE
ZIP

- 3.) 他のテーブルから次のフィールドを追加します。

ORDERS:
SHIPTO
SHIPADDRESS
SHIPCITY
SHIPSTATE
SHIPZIP
SHIPDATE
ORDERDATE

ORDER_DETAILS:
ORDERID
STAIN
STAINCOLOR
QUANTITY

PRODUCTS:
PRODUCTNAME
UNITPRICE
STAINPRICE

- 4.) 次に「Add Heading」をクリックします。表示されるダイアログに”Customer Info”と入力します。同様に 2 つの見出しを追加します。ひとつは”Shipping Info”、もうひとつは”Order Info”と入力します。
- 5.) ダイアログの右側にある次のフィールドを選択します。（CTRL+クリックもしくは SHIFT+クリックで複数選択します。）

COMPANY
CONTACTNAME
ADDRESS
CITY
STATE
ZIP

フィールドを選択した後に、「Group Fields」をクリックし、ドロップダウンリストから”Customer Info”を選択します。フィールドはその見出しの下に移動します。
選択するフィールド:

SHIPTO

SHIPADDRESS
SHIPCITY
SHIPSTATE
SHIPZIP
SHIPDATE

"Shipping Info"グループに追加

選択するフィールド:

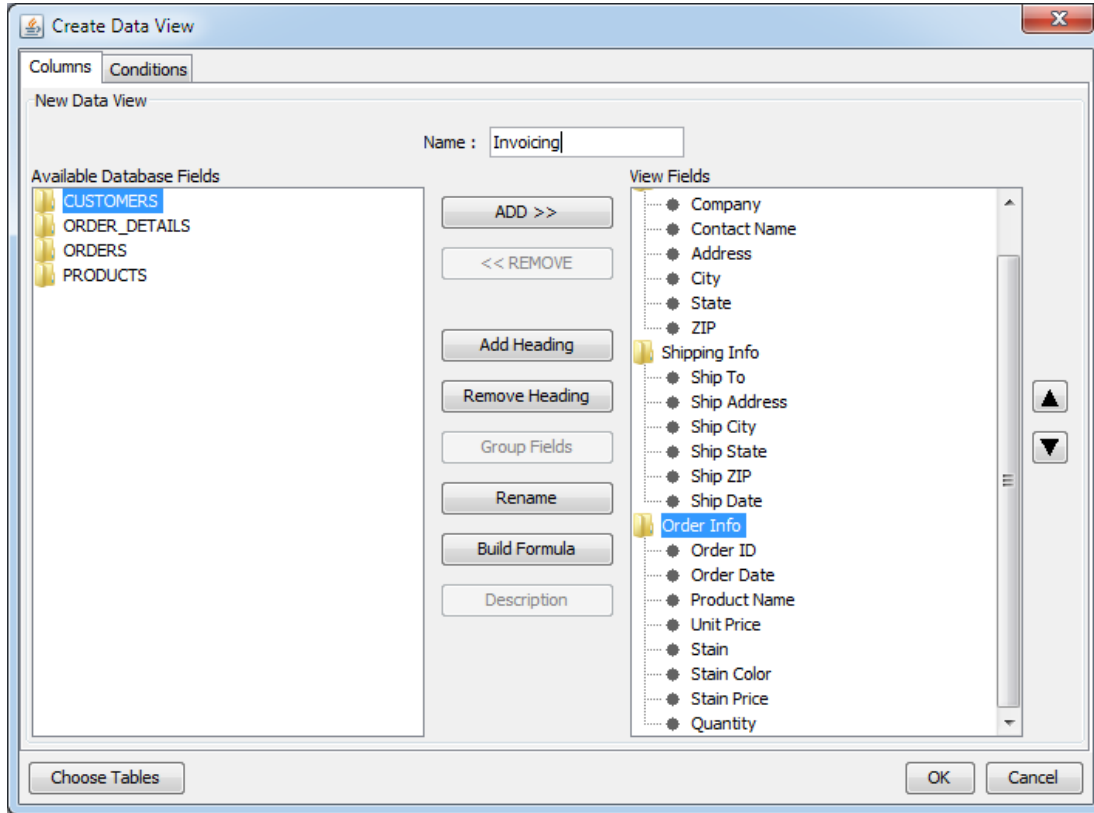
ORDERDATE
ORDERID
STAIN
STAINCOLOR
QUANTITY
PRODUCTNAME
UNITPRICE
STAINPRICE

"Order Info" グループに追加

ステップ 3: 名前の変更とフィールドの順序

- 1.) "CONTACTNAME" フィールドを選択し、「Rename」をクリックします。ダイアログで"Contact Name"を入力します。同様に各フィールドを適切な名前に変更します。
- 2.) "Order ID"フィールドを選択、上向きの矢印をクリックし、"Order Info"見出しの先頭にフィールドを移動します。"Order Info"見出しのフィールドを次のような順序に矢印を使用して変更します。

Order ID
Order Date
Product Name
Unit Price
Stain
Stain Color
Stain Price
Quantity



- 3.) 「OK」をクリックします。データソースマネージャーの「Data Views」の下に新しいノードが追加されます。